

採用業務の効率化により、応募数・採用率をアップ

リクルートジョブズが2015年9月にサービスを開始した『ジョブオブ採用管理』は、人手不足に悩む採用担当者を本格的にサポートする「アルバイト・パート採用向けクラウドサービス」。効率的に採用業務を行うことを目的としたツールとして導入する企業が増えている。

使いやすく、わかりやすい 分析ツールが充実

労働力人口が減少し、求人倍率が高止まりしている今、求人メディアに加え、自社で採用ホームページを開設して求職者との接点を広げようという企業が増えている。また、複数の求人メディアの応募者情報の一元管理を行い、採用業務効率の向上を図ろうと考える企業も増えてきている。しかし、こうした取り組みだけでは、本来の目的である“採用”まで結びつけることが難しいのが現状。採用率を上げるには採用プロセスのデータを把握・分析し、いかに戦略的に採用活動を行うかがポイントとなる。そして、そのために導入するツールやサービスを店舗や事業所等の様々な担当者が使うことを考えると、初めて使う担当者にとって使い勝手の良いものであることも重要なポイントだ。

リクルートジョブズが提供する『ジョブオブ採用管理』は、採用ホームページを自社で簡単に開設でき、複数の求人メディアの一元管理ができる。それだけでなく、分析に必要な様々な機能があらかじめ組み込

まれているのが『ジョブオブ採用管理』の特長。使いやすさ、わかりやすさを追求した設計がなされているため、導入してから直ぐに使い始めることができ、また店舗・事業所毎にデータを把握することができるため、採用率向上のための打ち手に繋げる事が可能なツールである。

欲しい情報が一目でわかり、 効果的な打ち手が可能に

それでは『ジョブオブ採用管理』を導入することによってどのような分析が可能になるのか、いくつかの機能を取り上げながら説明しよう。

『ジョブオブ採用管理』に利用している求人メディアを登録すると、メディア別の応募数・採用数を把握することができ、より効率的なメディアの選定が可能となる。また、『ジョブオブ採用管理』から作成した「採用ホームページの応募数推移」からは採用ホームページへの訪問回数（セッション数）・応募数・応募割合の推移が把握できる。「採用ホームページの原稿別応募状況」からは、採用ホームページに掲載した求人原



稿毎の訪問回数（セッション数）はもちろん、応募数・採用数までの可視化が可能。これにより、どのような求人原稿に応募が集まりやすいのかが一目で分かり、原稿内容等の改善に繋げることができる。求人原稿の分析のみならず、「面接設定依頼率」「面接設定依頼所要日数」といった採用プロセスにおける課題も可視化できるのが『ジョブオブ採用管理』の特長だ。この他にも、採用活動に効果的な分析機能が充実している。

さらに機能を拡充し、 より使いやすいシステムに

リクルートジョブズでは今後も、採用業務のプラットフォームになるシステムとして「カンタン操作で採用業務を効率化しながら、応募数・採用率をよりアップ」できるように『ジョブオブ採用管理』の機能開発を続けていく予定である。

新機能
追加

一目でわかる！すぐにできる！ アルバイト・パート採用向けクラウドサービス

『ジョブオブ採用管理』は、採用業務の効率化と応募数・採用率向上を実現するサービスである。導入することで、簡単に自社採用ホームページの開設・運用を行ったり、複数の求人メディアの応募者データを一括で管理することが可能になる。機能は進化し続けており、今年2月からは「求人媒体発注機能」もリリースされている。

わかりやすい効果レポート



ジョブオブ 採用管理
PRODUCED BY RECRUIT

お問い合わせ

株式会社リクルートジョブズ
ジョブオブ採用管理商品
サービスについて

<http://jobop.jp/ats/>

ジョブオブお問い合わせについて

jobop_toiawase@r.recruit.co.jp

